【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和7年6月26日(2025.6.26)

【公開番号】特開2023-16706(P2023-16706A)
【公開日】令和5年2月2日(2023.2.2)
【年通号数】公開公報(特許)2023-021
【出願番号】特願2022-100067(P2022-100067)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/041(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/044(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/041５２０
Ｇ０６Ｆ　3/044１２０
Ｇ０６Ｆ　3/044　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月18日(2025.6.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
容量性検知の方法であって、
入力装置の検知領域に設けられた複数のレシーバ電極から容量タッチプロファイルを取得することと、
前記複数のレシーバ電極から、前記容量タッチプロファイルと異なるアクティブペンプロファイルを取得することと、
前記容量タッチプロファイルを用いて前記アクティブペンプロファイルを調節することで補正アクティブペンプロファイルを取得することと、
前記補正アクティブペンプロファイルを用いて前記検知領域におけるアクティブペンの位置を特定することと、
を含む
方法。
【請求項２】
前記アクティブペンプロファイルを取得することが、前記複数のレシーバ電極によってアクティブペンの放射を受信することを含む
請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記補正アクティブペンプロファイルが、
前記容量タッチプロファイルをゲインによってスケーリングした後、前記容量タッチプロファイルを前記アクティブペンプロファイルに加算することで得られる、
請求項１に記載の方法。
【請求項４】
更に、
前記補正アクティブペンプロファイルが取得される前に、
前記アクティブペンに加えてタッチが前記検知領域に存在するかを判断することと、
前記タッチが存在するという判断に基づき、前記補正アクティブペンプロファイルを

取得することと、
を含む
請求項１に記載の方法。
【請求項５】
検知領域に設けられた複数のレシーバ電極と、
前記複数のレシーバ電極から容量タッチプロファイルを取得し、
前記複数のレシーバ電極から、前記容量タッチプロファイルと異なるアクティブペンプロファイルを取得し、
前記容量タッチプロファイルを用いて前記アクティブペンプロファイルを調節することで補正アクティブペンプロファイルを取得し、
前記補正アクティブペンプロファイルを用いて前記検知領域におけるアクティブペンの位置を特定するように構成された処理システムと、
を備える
入力装置。
【請求項６】
前記補正アクティブペンプロファイルが、前記容量タッチプロファイルをゲインによってスケーリングした後、前記容量タッチプロファイルを前記アクティブペンプロファイルに加算することで得られる、
請求項５に記載の入力装置。
【請求項７】
前記処理装置が、更に、
前記補正アクティブペンプロファイルが取得される前に、前記アクティブペンに加えてタッチが前記検知領域に存在するかを判断し、
前記タッチが存在するという判断に基づき、前記補正アクティブペンプロファイルを取得するように構成された、
請求項５に記載の入力装置。
【請求項８】
入力装置の検知領域に設けられた複数のレシーバ電極から容量タッチプロファイルを取得し、
前記複数のレシーバ電極から、前記容量タッチプロファイルと異なるアクティブペンプロファイルを取得し、
前記容量タッチプロファイルを用いて前記アクティブペンプロファイルを調節することで補正アクティブペンプロファイルを取得し、
前記補正アクティブペンプロファイルを用いて前記検知領域におけるアクティブペンの位置を特定するように構成された
処理システム。
【請求項９】
前記補正アクティブペンプロファイルが、前記容量タッチプロファイルをゲインによってスケーリングした後、前記容量タッチプロファイルを前記アクティブペンプロファイルに加算することで得られる、
請求項８に記載の処理システム。
【請求項１０】
当該処理システムが、更に、前記補正アクティブペンプロファイルが取得される前に、前記アクティブペンに加えてタッチが前記検知領域に存在するかを判断し、前記タッチが存在するという判断に基づき、前記補正アクティブペンプロファイルを取得するように構成された
請求項８に記載の処理システム。